

平成 29 年度学内教育 GP プログラム事業経費計画書（継続型）

学 長 殿

申請者（プログラム代表者名）

氏 名 小川 温子 印

(部局長等の承認)

私は下記の申請について了承します

職名 研究・イノベーションを担当する副学長

氏名 小川 温子 印

事業名称	ポストドクター・キャリア開発事業(採択期間 H23～H27) 「キャリア開発特論」の継続実施
取組代表者名 担当者名	研究・イノベーション担当理事・副学長 小川 温子 グローバルリーダーシップ研究所 教授 宮尾 正樹
事業内容	<p>事業の中核である長期インターンシップならびに企業合同説明会については、大学本体で継続し定着を図られている。一方で、本事業で大学院単位認定科目として創設された大学院生のキャリア意識涵養のための科目の一部については、継続するための十分な見通しが立っていない。より多くの大学院生に、研究で培われた転移可能な能力がいかにか社会で役に立つか知ってもらうため、様々な分野で活躍する人材の講話を聴き、直接交流することは有意義であり、将来のキャリアパスを拓げ、現在行っている研究の動機付けにもつながっている。</p> <p>研究開発部門大学院共通科目としてカリキュラムに組み込まれている「キャリア開発特論」は、来年度以降も開講する必要がある、その費用を学内GPでまかないたい。なお、これらの科目については、リーディングプログラムの必修科目ともなっており、今後は本学のカリキュラム全体の見通しの中で、キャリア教育、リーダーシップ教育と融合させて定着、発展を図る計画である。「キャリア開発特論」は、基礎編、応用編、実践編、ロールモデル編があり、それぞれ2単位となっている。本申請では来年度、2講座の実施を計画する。</p>
積算内訳	<p>積算合計： 500,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費（ゲスト講師謝金） <ul style="list-style-type: none"> 基本給 @5,700 円×2 時間×15 回=171,000 円 交通費 @1,000 円×12 回=12,000 円 @28,000 円×3 回=84,000 円 ・ 人件費（TA） <ul style="list-style-type: none"> 基本給 @1,300 円×2 時間×15 回×2 講義=78,000 円 ・ 業務委託費 120,000 円 ・ 物品費 <ul style="list-style-type: none"> 事務用消耗品 35,000 円

平成 28 年度 学内教育 GP プログラム事業（継続型）の
現在の進捗状況と今後の事業計画

取組代表者 小川 温子

事業名称	<p>ポストドクター・キャリア開発事業(採択期間 H23～H27) 「キャリア開発特論」の継続実施</p>
現在の進捗状況	<p>本事業で大学院単位認定科目として創設された「キャリア開発特論」の基礎編、応用編、実践編、ロールモデル編のうち、今年度は基礎編、実践編、ロールモデル編を開講した。そのうちのロールモデル編（前期）と基礎編（後期集中）の2科目に本助成を活用した。2科目の講義概要は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア開発特論（ロールモデル編）」 産学官の様々な分野で活躍する修士課程修了以上の女性をゲスト講師に迎え、キャリアパスとロールモデルを議論する講義を展開した。 ・「キャリア開発特論（基礎編）」 それぞれの過去、現在、未来について、ワークショップ形式で分析し、これからのキャリアをどのように築いていくかを講義の中で明確にし、アクションプランを立てた。 <p>両講義ともに20名前後の学生が履修し、すでに終了している。講義後のアクションペーパーからも受講生の満足度がうかがえ、それぞれが自身のキャリアを考える機会になった。</p>
今後の事業計画	<p>今後、本事業で実施されてきたカリキュラム全体の見直しを行い、キャリア教育、リーダーシップ教育と融合させて学内に定着、発展を図る計画である。「キャリア開発特論」の基礎編、応用編、実践編、ロールモデル編のうち、「グローバル女性リーダー特論」の4講座と重なる科目については、統合し、科目数を削減するなど、学生にとって有意義な講義を残しながら、経費を抑えて実施することを念頭に検討を進めている。</p> <p>講義の内容については、学生にとって有益なコンテンツを残し、状況に合わせて修正を行う。経費については、連携企業の協力のもと、ゲスト講師への謝金や講義の提供を無償でしていただけるよう交渉を行うなど工夫をし、講義実施の経費負担の削減を目指す。</p>